

## 検索クエリとセットの管理

リポジトリ検索を実行できるすべての役職はすべて、セットを作成して、セットを管理するためにクエリを保存できます（ユーザーは、そのユーザーが作成したセットのみを管理できます）。

ただし、ユーザーは、ユーザー役職に応じて作業が許可されているコンテンツタイプに対してのみ作業を行うことができます。

他のユーザーが作成したセットの組み合わせ結果を表示するには、リポジトリマネージャーの役職である必要があります。リポジトリマネージャーは、パブリックセットとプライベートセットを表示/編集/削除できます。

セットのコンテンツタイプに応じて以下の役割が必要です：

- 受入コンテンツタイプのセットの場合、下記の役職のいずれかが必要です：
  - 発注/購入マネージャー (注文ラインセットのみ)
  - ベンダーマネージャー (ベンダーのセットのみ)
  - 受入管理者
  - 総合システム管理者
- ユーザーセットの場合、下記の役職のいずれかが必要です：
  - ユーザーマネージャー
  - ユーザーアドミン
- 図書リストおよびコースセットには、次の役職のいずれかが必要です：
  - コースリザーブオペレータ/マネージャー
  - フルフィルメントサービスオペレータ/マネージャー
- リサーチセットのセットを管理するには、機関でEsploroを有効にした上で、下記の役職が必要になります：
  - リサーチセットマネージャー
- 研究者のセットを管理するには、機関でEsploroを有効にした上で、下記の役職が必要があります：
  - リサーチマネージャー
- 他の人が作成したセットからレコードを削除するには、リポジトリマネージャーの役職が必要です。
- 他のユーザーが作成したセットの組み合わせ結果を表示するには、リポジトリマネージャーの役職である必要があります。

セットは、Almaのレコードのコレクションです。これらは、ユーザーがアイテムごとに作成したリストとして手動で作成することも、動的に作成することもできます。この場合、セットは保存された検索クエリであり、検索が実行されるたびに結果が決定されます。セットにはサイズ制限はありません。

セットは、メタデータの一括公開、レコードのグループの移動、またはジョブの実行に使用できます。定義済みセットでジョブを実行する詳細については、[定義済みセットでの手動ジョブの実行](#)を参照してください。

---

### Note

最初にセットを定義せずに、選択した検索結果とPO line に対して直接ジョブを実行できます。詳細については、[手動](#)

---

---

[ジョブ](#)を参照してください。

---

## セットの種類

セットには下記の2種類があります：

- アイテム別セット-司書によって手動で選択またはアップロードする個々のアイテムの静的セットです ([アイテム別セットの作成](#)を参照)。
- 論理セット-保存された検索クエリの結果であり、検索が実行されるたびに動的に作成されます ([論理セットの作成](#)を参照)。

## コンテンツタイプの設定

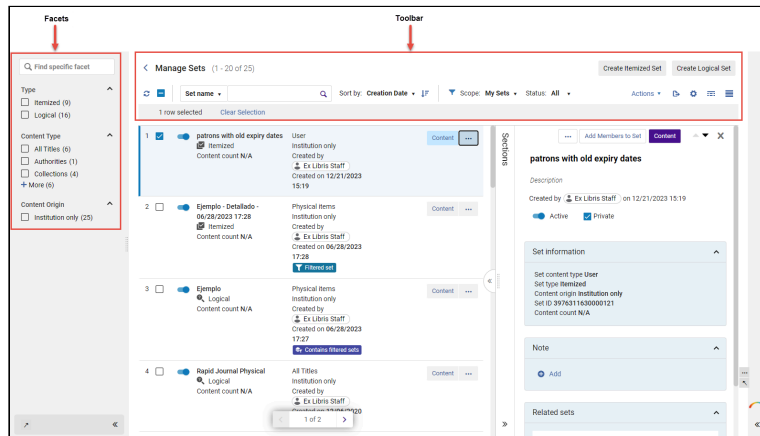
セットは、複数のコンテンツタイプから作成できます。上記の [アクセス許可] セクションで説明されているように、特定のコンテンツタイプのセットを作成できるかどうかは、アクセス許可によって異なります。

- 受入セット
  - 注文明細
  - ベンダー
- コースセット
- ユーザーセット
- 図書リストセット
- リソース管理セット
  - 全タイトル
  - 典拠
  - 引用
  - コレクション
  - デジタルファイル
  - デジタルタイトル
  - 電子コレクション
  - 電子ポートフォリオ
  - 電子タイトル
  - 物的所蔵
  - 冊子
  - 冊子タイトル
- **Esploro**セット (貴機関でEsploroが有効になっている場合にのみ表示できます)：
  - 研究者のセット (ユーザーセットに類似)
  - リサーチアセットのセット (リソース管理セットに類似)

詳細については、[Almaセットでのレコードのバッチの作成 \(7分14秒\)](#) を参照してください。

## セットの管理

セットは、「セットの管理」ページで管理されます (アドミン > ジョブとセットの管理 > セットの管理)。



「セットの管理」ページ

### Note

ファセットの詳細については、[新しいレイアウト > ファセット](#) を参照してください。

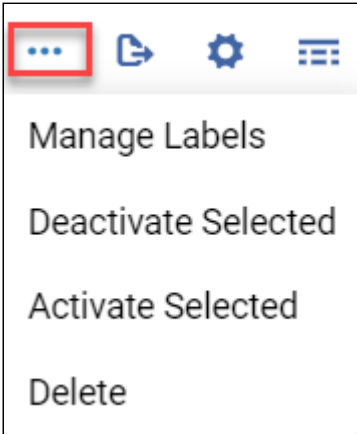

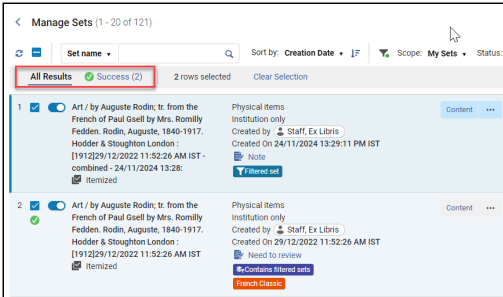

## セットの管理ツールバー

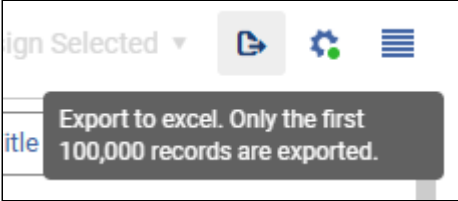





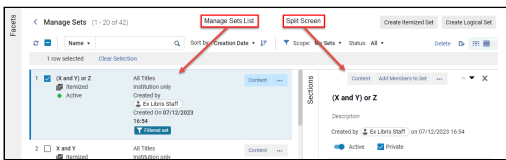
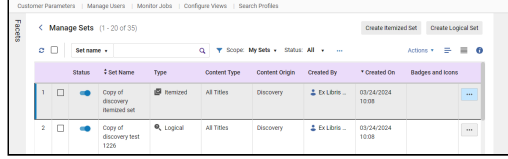
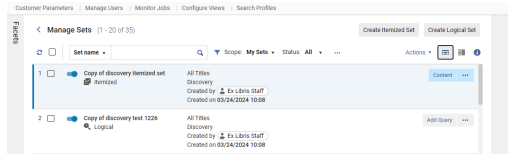
次の機能がセットの管理ツールバーに表示されます。

セットの管理ツールバー

フィールド アイコン	説明
	更新 セットの管理ページを更新します。
<input type="checkbox"/> すべてのアイテムを選択/選択解除	表示されたリスト内のアイテムのみをすべて選択またはすべての選択を解除します。多数のページにまたがる多数のセットがある場合は、現在のページのアイテムのみが選択/選択解除されます。  さらに、セット名の左側にある <input type="checkbox"/> ( <input checked="" type="checkbox"/> ) を選択すると、リスト内の (全部ではなく) 個別のセットを選択できます。
 検索	セット名または作成者 (ユーザーID:ユーザーの名またはユーザーの姓) 別にリスト結果を検索します。ドロップダウン・フィールドで、「Set Name (セット名)」または「Created by (作成者)」を選択し、いずれかのオプションの検索文字を入力します。  検索文字で始まる文字列を検索するには、アスタリスク (*) ワイルドカード文字を使用します。たとえば、「ser*」を検索すると、「series」および「serology」とともに「serials」が検索されます。

フィールド /アイコン	説明
	<p><b>Note</b></p> <p>セット名にダッシュ（ハイフン）が含まれている場合、ワイルドカード文字としてアスタリスク（*）を使用すると、検索クエリ内のダッシュをスペースに置き換えます。たとえば、セット名が<b>test-try-check</b>の場合、<b>test-t*</b>を検索してもセットは見つかりません。代わりに、<b>test t*</b>を検索して結果を返します。</p>
<p>並べ替え：  昇順/降順</p>	<p>セットのリストを名前または作成日のいずれかで並べ替えます。ドロップダウン フィールドで、並べ替えるオプションを選択します。</p> <p>さらに、[昇順] または [降順] ボタンを選択すると、選択したオプション（名前または作成日）に従って結果が昇順または降順で表示されます。</p>
<p> フィルター</p>	<p><b>検索範囲：</b></p> <p>ユーザーは、次のように表示されたセットをフィルタリングできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのセット – すべてのクエリ</li> <li>マイセット – 保存済み検索クエリ（プライベートおよびパブリック）</li> <li>パブリックセット – プライベートとしてマークされていないすべてのユーザーの保存済みクエリ</li> </ul> <hr/> <p><b>Note</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのセットタブは、リポジトリマネージャーのみが利用可能です。この役職は、パブリックセットを編集するためにも必要です。</li> <li>アイテムセットには、削除されたレコードへの参照が含まれる場合があります。削除されたレコードは、リポジトリ検索や正規化ジョブには表示されません。アイテムセットを使用すると、削除されたレコードをPrimoに再公開するなどの操作を実行できます。</li> <li>セットに含めることができるレコードの数に制限はありません。</li> </ul> <hr/> <p><b>ステータス：</b></p> <p>セットがアクティブ、非アクティブ、またはすべて（非アクティブセットとアクティブセットの両方）のいずれであるかによって、セットをフィルタリングするオプションを提供します。</p> <p>アクティブセットとは、手動ジョブの実行時にセットを選択できるかどうかを指します。</p> <p>非アクティブセットとは、手動ジョブの実行時にユーザーが選択できないセットを指します。</p>
<p>一括アクション</p>	<p>1つ以上のセットが選択されると、一括アクション ボタンが有効になります。</p> <div data-bbox="277 1619 777 1682" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <span>Delete</span> <span>Activate Selected</span> <span>Deactivate Selected</span> </div> <p>セットが選択されていない場合、オプションは有効になりません。</p> <div data-bbox="277 1766 777 1829" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <span>Delete</span> <span>Activate Selected</span> <span>Deactivate Selected</span> </div> <p>画面の解像度によっては、行アクションアイコンの下にオプションが表示される場合があります。</p>

フィールド /アイコン	説明
	<div data-bbox="277 239 631 669" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  </div> <p>オプションについては以下に説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 選択した項目を非アクティブ化 - 選択したセットはすべて非アクティブ化されます。確認メッセージが表示されます。</li> <li>• 選択した項目をアクティブにする - 選択したセットはすべてアクティブ化されます。確認メッセージは表示されません。</li> <li>• 削除 - 選択したセットはすべて削除されます。確認メッセージダイアログボックスで<b>確認</b>を選択します。</li> </ul> <p>アクティブ化/非アクティブ化切り替えボタンを使用して、リスト内の（全部ではなく）個別のセットを有効化/非有効化できます（</p> <div data-bbox="277 989 331 1094" style="margin-bottom: 10px;">  </div> <p>)を選択すると、リスト内の（全部ではなく）個別のセットを選択できます。</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>削除できるのは、あなたが作成したセットのみです。リポジトリマネージャーは、すべてのセットを削除できます。</p> <hr/> <p>セットに関して一括アクションを実行すると、成功数と失敗数を含む、結果を示す情報と結果へのリンクがページの上部に表示されます。</p> <div data-bbox="277 1381 777 1675" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  </div>
ラベルを管理する	<p><a href="#">[セットの管理]</a> ページのラベルを参照してください。画面解像度によっては、このオプションが行アクションアイコンの下で使用できる場合があることに注意してください（一括アクションを参照）。</p>
 エクスポート	<p>セットを Excel (*.xlsx形式) にエクスポートします。</p>

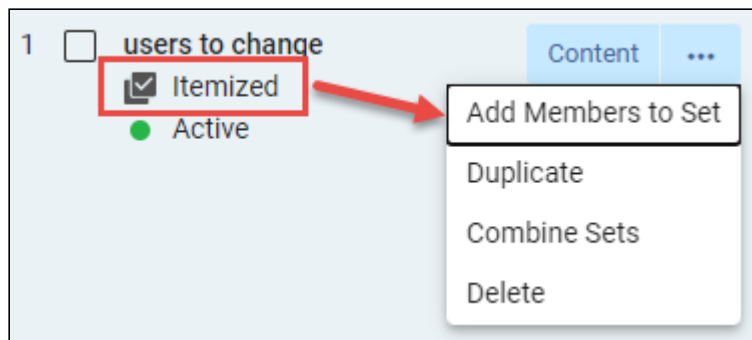
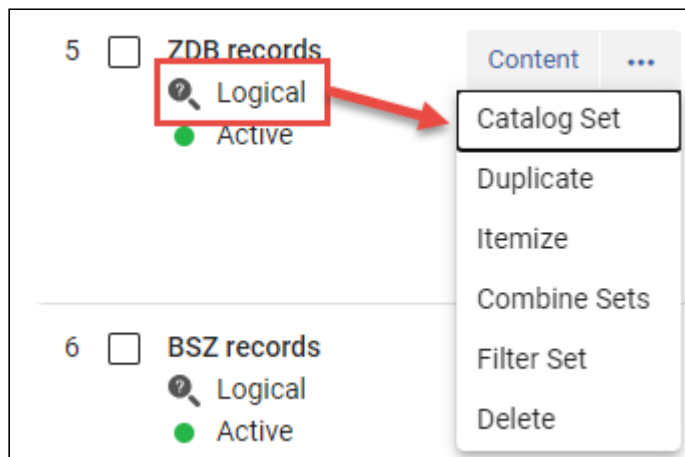
フィールド アイコン	説明
	<p><b>Note</b></p> <p>一部のページでは、最初の100,000件のレコードのみがエクスポートされます。現在のエクスポートにこれが適用されるかどうかは、ツールチップに表示されるメッセージで確認できます。</p> 
 カスタマイズ	<p>ユーザーは、セット管理リストのさまざまな側面をパーソナライズできます。これには、セクション、テーブル、およびファセットの順序と外観の決定、およびレコードの表示のカスタマイズが含まれます (<a href="#">セットリストのカスタマイズの管理</a>参照)。</p>
 テーブル ビューに 切り替える   レコード ビューに 切り替える   リスト ビューに 切り替える   分割画面 表示に変更	<p>「セットの管理」画面でセットを選択すると、画面が分割されて、選択したセットに関連する情報を示す追加画面が表示されます。詳細については、<a href="#">分割画面</a>を参照してください。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>• テーブルビューに切り替える - このアイコンを選択すると、管理対象セットがテーブルビューに表示されます。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>• レコードビューに切り替える - このアイコンを選択すると、管理対象セットがレコードリストに表示されます。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>• リストビューに切り替える - このアイコンを選択すると、分割表示なしで管理セットがリストビュー（レコードまたはテーブル）に表示されます。</li> </ul>
アイテム セットを 作成	<p>司書が手動で選択またはアップロードした個々のアイテムの静的セットを作成します (<a href="#">アイテム別セットの作成</a>を参照)。</p>
ロジカル セットの 作成	<p>保存された検索クエリを作成し、検索が実行されるたびに動的に更新されます (<a href="#">ロジカルセットの作成</a>を参照)。</p>

## セットの管理ページ その他のアクションメニュー

アクションメニューには、下記のアクションが含まれます：

### Note

以下に説明するアクションは、全般的な主要アクションです。セットのコンテンツタイプによっては、追加のアクション/オプションがある場合があります。



アクションメニューオプション - ロジカルセット

アクション	説明
内容	保存された検索クエリを実行し、結果を表示します。
目録セット	セットがMDエディタで開きますが、セットに含まれるアイテムが 200未満の場合に限ります。 <a href="#">メタデータエディターでの目録セットの操作</a> を参照してください。 コミュニティゾーンセットの場合、このオプションは書誌および 権限レコードに使用可能です。 このアクションは、 <b>典拠</b> コミュニティゾーンの検索結果から作成されたセットには使用できません。
[複製]	セットをコピーします。複製されたセットは、セット名に接頭語として追加された単語のコピーとともに「セットの管理」ページに追加されます。 これにより、スコープフィルターがマイセットまたはすべてに設定されている場合にのみ表示できるプライベートコピーが作成されることに注意してください。

アクション	説明
アイテム化	ロジカルセットをアイテムセットに変換します。確認メッセージダイアログボックスで確認を選択します； <a href="#">ロジカルセットをアイテムセットに変更する</a> を参照してください。
セットを結合する	2つの既存のセットのメンバーに基づいて新しいセットを作成します。 <a href="#">セットの結合</a> を参照してください。
フィルターのセット	表示ルールを使用してセットをフィルタリングするオプションを提示します。表示が「真」の際は、レコードはセットに含まれます。 詳細については、 <a href="#">セットのフィルタリング</a> を参照してください。
削除	セットを削除します。確認メッセージダイアログボックスで確認を選択します。 <hr/> <b>Note</b> 削除できるのは、あなたが作成したセットのみです。リポジトリマネージャーは、すべてのセットを削除できます。 <hr/>

#### アクションメニューのオプション - アイテムセット

アクション	説明
内容	保存されたセットの結果を表示します。
セットにメンバーを追加	保存されたセットのメンバー (結果) を表示します。 <a href="#">メンバーの表示 (アイテムセットのみ)</a> を参照してください。
複製	セットをコピーします。複製されたセットは、セット名に接頭語として追加された単語のコピーとともに「セットの管理」ページに追加されます。 これにより、スコープフィルターがマイセットまたはすべてに設定されている場合にのみ表示できるプライベートコピーが作成されることに注意してください。
セットを結合する	2つの既存のセットのメンバーに基づいて新しいセットを作成します。 <a href="#">セットの結合</a> を参照してください。
削除	セットを削除します。確認メッセージダイアログボックスで確認を選択します。 <hr/> <b>Note</b> 削除できるのは、あなたが作成したセットのみです。リポジトリマネージャーは、すべてのセットを削除できません。 <hr/>

## セットリストのカスタマイズの管理

ユーザーは、セット管理リストのさまざまな側面をパーソナライズできます。これには、セクションとファセットの順序と外観の決定、およびレコードの表示のカスタマイズが含まれます。これにより、編集ビュー内のセクションを構成したり、レコードビューに表示される要素を選択したり、リストで使用可能なファセットを選択したりできる一連のオプションがユーザーに提供されます。

選択できるカスタマイズは次の4つです。

- [セクションのカスタマイズ](#)
- [レコードのカスタマイズ](#)
- [ファセットのカスタマイズ](#)
- [テーブル カスタマイズ](#)

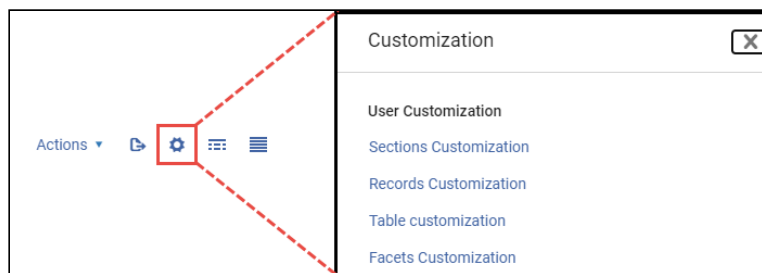
セット管理リストをカスタマイズするには:

1. セットの管理ページ (アドミン > ジョブとセットの管理 > セットの管理) で、カスタマイズ (



) アイコンをクリックするか、アクション > カスタマイズを選択します。

カスタマイズオプションを含むサイドバーペインが表示されます。



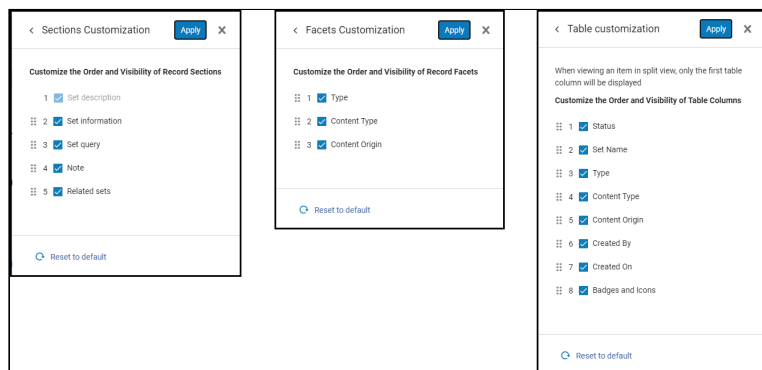
セットリストの管理 - メニューオプションのカスタマイズ

セクション、テーブル、およびファセットのカスタマイズ:

セクションとファセットは、そのカスタマイズと本質的に似ています。

2. サイドバーペインのオプションで、セクションのカスタマイズ、テーブルのカスタマイズ、またはファセットのカスタマイズを選択します。

カスタマイズオプションは選択ごとに表示されます。



セクション、ファセットのカスタマイズ オプション

3. セクション、テーブル、またはファセットのフィールドをUIに表示したいように並べ替えられます。位置の順序でフィールドをドラッグアンドドロップするだけです。終わった時に適用を選択します。

## Note

セクションのカスタマイズのフィールドにあるセットの**説明**を非表示にしたり、並べ替えたりすることはできません。

4. セクション、テーブル、またはファセットフィールドを**非表示（無効）**にできます。  
フィールドを**選択解除**（

）して非表示にするか、フィールドを**選択**（

）して表示します。未**選択**のフィールドはUIに表示されません。終わった時に**適用**を**選択**します。

5. 次を**選択**すると、**順序と外観**をデフォルトの表示にリセットできます。



デフォルトにリセットする。

### レコードのカスタマイズ:

6. [カスタマイズ] サイドバー ペインのオプションで、**レコードのカスタマイズ**を**選択**します。

レコードのカスタマイズ オプションが表示されます。

### レコードのカスタマイズ オプション

7. UIで表示または非表示にするフィールドは、

）を**選択**するか、（

）フィールドのチェックボックスを外します。終わった時に**適用**を**選択**します。

8. レコード フィールドを UI に表示したいように並べ替えられます。  
位置の順序でフィールドをドラッグ アンド ドロップするだけです。終わった時に**適用**を**選択**します。

- **1列目** - この列のフィールドは、狭いリストでも常に表示されます (UI 画面のサイズが変更された場合)。
- **2列目** - この列のフィールドは優先度が低いため、狭いリストには表示されません。
- **3列目** - この列のフィールドは常に表示されます。狭いリストでは、アイコンとして表示されます。

## Note

レコードのフィールドカスタマイズは、**1列目**または**2列目**で並べ替えることができます。さらに、いずれかの列のフィールドを列間で移動できます。

### 3列目

(バッジとアイコン)を並べ替えたり、移動したり、非表示にしたりすることはできません。レコードのカスタマイズの

### セット名

フィールドを非表示にしたり並べ替えたりすることはできません。

9. 次を選択すると、順序と外観をデフォルトの表示にリセットできます。



デフォルトにリセットする。

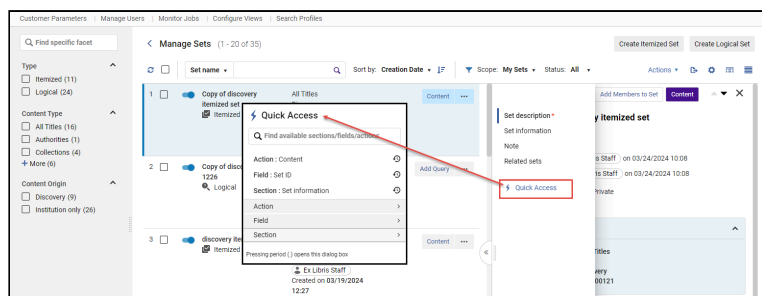
## クイックアクセスモジュール

このセクションでは、セットの管理ページのクイックアクセスモジュールについて説明します。Almaのこの機能の概要については、[新しいレイアウト](#)も参照してください。

セクションスライドアウトパネルのリンクの下にネストされているのは、クイックアクセスモジュールです。このモジュールにより、ユーザーは検索を効率化し、[セットの管理]ページの分割画面ビューの詳細ペイン（右側のパネル）内の特定のセクション、フィールド、またはアクションに焦点を絞ることができます。ユーザーは2つの異なる方法でモジュールを開始できます。

クイックアクセスモジュールを開くには:

1. キーボードショートカット（ピリオド「.」）を利用する、または
2. セクションサイドアウトペインにあるリンクの下のクイックアクセスと表示されている最後のリンクを選択します。



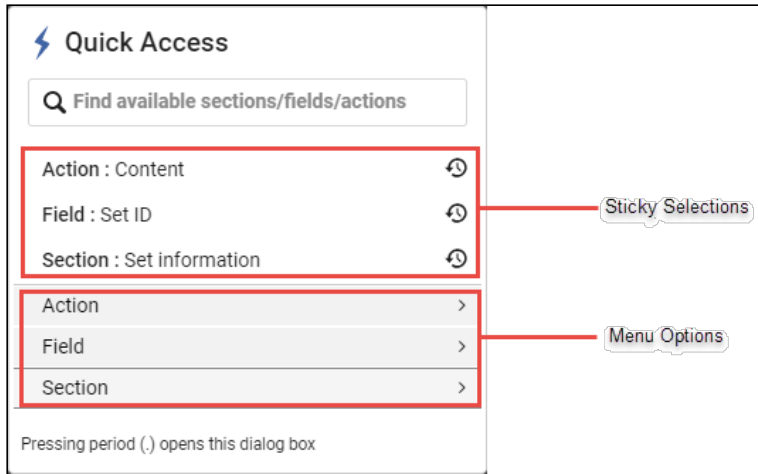
クイックアクセスモジュールへのアクセス

## クイックアクセスモジュールオプション

セットの管理ページで選択したセットに応じて、クイックアクセスモジュールに表示されるアクション、フィールド、およびセクションオプションは、フォーカスされたセットに関連しているため異なります。クイックアクセスモジュールに以前アクセスしたことがある場合は、選択された固定選択（

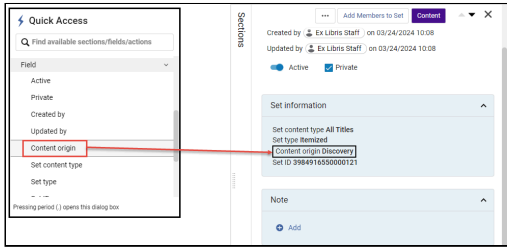
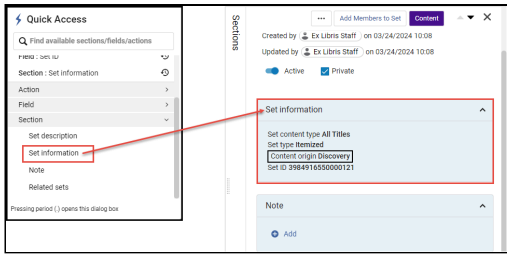


アイコンで表示）がアクション、フィールド、セクションのメニューオプションの上に表示されます。



クイックアクセスメニューオプション

クイックアクセスモジュールメニューオプション

メニュー	説明
アクション	<p>オプションを表示します</p> <p>...</p> <p>各セットのその他のアクションドロップメニュー。詳細については、<a href="#">セットの管理ページその他のアクションメニュー</a>を参照してください。</p>
フィールド	<p>セットの詳細ペイン内の特定のフィールドに直接リンクします。</p>  <p>クイックアクセスモジュールのフィールドメニューオプション</p>
セクション	<p>セットの詳細ペインで選択したセクションに直接リンクします。</p>  <p>クイックアクセスモジュールのセクションメニューオプション</p>

セットの管理ページのタブ

セクションの一般的な情報については、[新しいレイアウト](#)を参照してください。

セットの管理ページには次のセクションが表示されます。

- 設定情報 - セットの一般情報。
- メモ - [詳細ペインでのメモの管理](#)を参照してください。
- 関連セット - フィルター処理されたセット、結合したセット、項目化された論理セットなどの関連セットを表示します。

---

## Note

Alma は、新しい UI を使用するコンテンツ タイプに基づいて、すべてのセットのクエリを表示します。Alma は、従来のテクノロジーに基づくクエリを使用しているセットに対して「クエリは利用できません」というメッセージを表示します。

---

---

## [セットの管理] ページのラベル

セットにラベルを追加できます。詳細については [「Almaでのラベルの管理」](#)を参照してください。



セットのラベル

---

## アイテムセットの作成

アイテムセットは、リポジトリ内の個々のレコードの静的コレクションです。セットの管理ページで、検索（「すべてのタイトル」「物理的所蔵」と-「PO Line」などの領域）から作成できます。貸出状況に基づいたセットの作成は、[貸出状況に基づくアイテムセットの作成を参照してください](#)。Almaでの検索の詳細については、[Almaでの検索](#)を参照してください。

---

## Note

コンソーシアムメンバーの場合、項目別セットアクションは機関スコープで検索する場合にのみ使用できます（ネットワークスコープまたは複合スコープでは使用できません）。

---

---

## セットの管理ページでアイテム別セットを作成する

「セットの管理」ページでは、ファイル、検索、または分析からアイテム別検索を作成できます。

セットの管理ページでアイテム別セットを作成するには:

1. セットの管理ページ ([アドミン > ジョブとセットの管理 > セットの管理](#)) で、アイテム別セットの作成を選択します。「アイテム別セットの詳細」ページが開きます。

Itemized Set Details

<p>Set name* <input type="text" value="Enter name"/></p> <p>Description <input type="text" value="Enter description"/></p> <p>Note <input type="text" value="Enter note"/></p> <p>Set content type <input type="text" value="All Titles"/></p>	<p>Set type <b>Itemized</b></p> <p>Content origin <input type="text" value="Institution only"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Private</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Active</p>
--	--

Add items to set

From search  
  From file  
  From analytics

### アイテム別セット詳細ページ

- 各フィールドにセットの詳細を入力します。セット名は必須フィールドであり、他と重複してはいけません。

#### Note

セット名に特殊文字を含めることはできません (例: &、#、\$、%)。

- オプションとして、説明またはメモを含めることで、セットに追加情報を含めることができます。
- このページの冒頭で説明したように、セットのコンテンツタイプで使用可能なオプションは、権限によって異なります。
- デフォルトでは、セットはプライベートとして指定されています (
  - )。つまり、このセットはあなたとリポジトリマネジャーのロールを有するユーザーだけが使用できます。チェックボックスの選択を解除すると (
    - )、セットはパブリックセットになり、他のすべてのユーザーが使用できるようになります。
- デフォルトでは、ステータスはアクティブに設定されています(
  - )。オプションでチェックボックスの選択を解除し (
    - )、セットを非アクティブにします。非アクティブセットは手動ジョブの実行時にユーザーが選択することはできません。
- コンテンツの出典フィールドは、ソースレコードの出典を示し、機関のみに設定されています。
- 下記の方法のいずれかを使用して、レコードをセットに追加します：
  - [検索から](#)
  - [ファイルから](#)
  - [アナリティクスから](#)

### ?索から：

- セット名を入力し、他のフィールドを定義した後、作成を選択します。選択したコンテンツタイプに応じて、検索ページが開きます。

- b. [ステップ9](#)に進みます。

## ファイルから：

- a. 識別子（MMS ID、ISSN、ISBNなど）を含むファイルからセットへセクションのコンテンツを追加、でファイルを選択します。

---

### Note

ファイルをアップロードすることでセットにレコードを追加する場合、メンバーをセットに追加するには何の機能もないため、選択しないでください。

---

インポートするファイルは、テキストファイル（.txtまたは.csvで、ファイルのエンコードは**UTF-8**）またはExcelファイル（.xlsまたは.xlsx）でなければなりません。データを読み取るには、列の一番上に正しい**ヘッダー**（[ヘッダータイプ表](#)参照）が必要です。たとえば、「MMS Id」や「MMS\_ID」ではなく、「MMS ID」。Excelファイルに複数の列がある場合は、有効なヘッダータイプを持つデータの最初の列が使用されます。対応可能な見出しタイプについては、[ヘッダータイプ](#)を参照してください。ファイル内の他のすべての情報は無視されます。

---

### Note

ネットワークゾーンMMSを使用したネットワークゾーンで管理されるレコードのアイテムセットの作成はサポートされていません。代わりに、**機関ゾーン MMS**を使用する必要があります。

---

ファイルには重複するバーコードが含まれてはいけません。ファイルにいくつかの重複したバーコードが含まれている場合、Almaはそれらのすべてのインスタンスをスキップします（例えば、同じバーコードがファイル内で2回言及されている場合、Almaは両方のインスタンスをスキップします）。

---

### Note

デジタル表記物からのセット作成はサポートされていません。

---

### Note

ヘッダーとしてPIDを持つセットは正常にインポートされます。ただし、既知の問題により、このようなセットのメンバーを表示することはできません。

---

詳細については、ビデオ[識別子のリストをアップロードしてアイテムセットを作成する](#) (1分53秒)を参照してください。

ユーザー：

Excelファイルを使用して項目別セットにユーザーをアップロードする場合、**A1**セルに、ファイルで使用されている識別子タイプのコード（[追加のユーザー識別子タイプの表示](#)を参照）または**USERNAME**（プライマリID用）のいずれかを含め、**A**列の後続セルにユーザー識別子を含める必要があります。同様に、.txtファイルをアップロードする場合、最初の行には、ファイルで使用されている識別子タイプのコードまたは**USERNAME**のいずれかを含める必要があります。続く行には、ユーザー識別子（それぞれキャリッジリターンで区切られている）を含める必要があります。例えば、ユーザー名（デフォルトのプライマリID）のセットをアップロードしたい場合、Excel/.txtファイルの一番上の行に**USERNAME**というテキストを入力し、続くセル/行に実際のユーザー名を入力します。

利用可能なユーザー識別子のタイプの詳細については、[「ユーザー識別子の管理」](#)を参照してください。

	A	B
1	INST_CODE	
2	1234	
3	1236	

ユーザー識別子を含むExcelファイルの例

設定されたタイプのユーザー、注文明細、および冊子アイテムに対して検証が実行されます。セットにメンバーを追加ジョブが実行され、ファイルからセットが作成されます。このジョブの複数のインスタンスを並行して実行することができます。

### Note

- ファイルを選択した後、セットにメンバーを追加を選択すると、ファイルは読み込まれません。確認ダイアログボックスで確認を選択して、セットに含めるレコードをリポジトリから検索します。完了を選択すると、それまで選択されていたファイル内のレコードではなく、選択されたレコードがセットに含まれます。
- インポートファイルの最大サイズは10MBです。
- 無効なデータでインポートを実行すると、無効な各セルは無視されます。
- ファイルをインポートしてからコンテンツタイプを変更した場合は、ファイルを再インポートする必要があります。

b. [ステップ9](#)に進みます。

## アナリティクスから：

a. アナリティクスからを選択します。この方法では、既存のセットにメンバー（アイテム、ユーザーなど）を追加できないことに注意してください。アナリティクスを使用して新しいセットを作成することしかできません。

### Note

分析セットを作成する場合、プライベートセットではなく、機関セットのみを使用できます。

下記のオプションが表示されます：

Add items to set

From search  
 From file  
 From analytics

Analytics folder   Name

[Download report](#)

アナリティクスからコンテンツを追加する

b. アナリティクスフォルダドロップダウンリストからオプションを選択します：

- **最近使用したレポート** - [セットの管理] 画面で最近使用したレポート (アナリティクスで最近作成したレポートではありません)。名前フィールドからレポートを選択します。項目別セットをレポートから作成し、保存したときに、名前フィールドは、最近作成されたレポートについて入力されます。
- **マイレポート** - アクセス権を持っているレポート (「アナリティクスのオブジェクトリスト」を参照)。名前フィールドからレポートを選択します。

## Note

- この機能はレポートでのみ機能し、ダッシュボードやデータ可視化 (DV) では機能しません。
- この機能が動作するには、レポートが共有フォルダー内にある必要があります。
- レポート名に特殊文字を含めることはできません。特殊文字を含めると、「分析への接続に失敗しました」というエラーメッセージが表示されます。

- c. **レポートをダウンロード** を選択し、レポートをダウンロードします。  
 ファイルから項目別セットを作成する場合と同様に、アナリティクスレポートには、レポート作成に有効なフィールドを含むヘッダー ([ヘッダータイプ](#)を参照) が必要です。レポートの上部にタイトルヘッダーが含まれている場合は、それを削除する必要があります。詳細については、[アナリティクス - Alma Analytics Reports.pptxからAlmaでセットを作成](#)を参照してください。  
 ジョブは、アナリティクスレポートからAlmaのセットを作成します。  
 この機能の説明動画については、「[レポートからセットを作成する](#)」をご覧ください。
- d. [ステップ9](#)に進みます。

## ヘッダータイプ

コンテンツタイプ	ヘッダー	IDの接頭語
<p><b>Note</b></p> <p>ファイルで035フィールドオプションを使用する場合 (以下を参照)、アイテムセットを構築するためのマッチングプロセスは、セットを作成するために035 \$ aのみを使用します。これは、その他のシステム番号パラメーターを使用した高度な検索で使用される照合方法とは異なることに注意してください。それには、035 \$ 9が含まれますが、アイテムセットを作成する場合、このフィールドは利用できません。</p>		
<p><b>Note</b></p> <p>ヘッダー列には、各行に1つの値のみを含める必要があります。つまり、行ごとに、識別子が1つだけということです。たとえば、MMSレコードに複数のISSN値がある場合、インポートされるファイルには1つだけを含める必要があります。</p>		
全タイトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ MMS ID</li> <li>◦ ISSN (有効フィールドと非有効フィールドの両方に一致 (022 \$ a、z))</li> <li>◦ ISSN_A (有効フィールドでのみ一致 (022 \$ a))</li> <li>◦ ISBN (有効フィールドと非アクティブフィールドの両方で一致 (020 \$ a、z))</li> <li>◦ ISBN_A (有効フィールドでのみ一致 (020 \$ a))</li> <li>◦ OCLC番号</li> <li>◦ 035フィールド</li> </ul>	99
典拠	MMS ID	98
引用	引用ID	

コンテンツタイプ	ヘッダー	IDの接頭語
コレクション	PID	81
コース	Course_ID.詳細については、 <a href="#">コースの管理</a> を参照してください。	
デジタルファイル	<p>PID</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>アナリティックスリポートからアイテムセットを作成する場合、これはIEDです (Rep IDではありません)。</p> <hr/>	13
デジタルタイトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ PID</li> </ul> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>アナリティックスリポートからアイテムセットを作成する場合、これはIEDです (Rep IDではありません)。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ ISSN</li> <li>◦ ISBN</li> <li>◦ MMS ID</li> <li>◦ OCLC番号</li> <li>◦ 035フィールド</li> </ul>	11
電子コレクション	PID	61
電子ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ PID</li> <li>◦ ポートフォリオID</li> </ul>	53
電子タイトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ PID</li> <li>◦ ISSN</li> <li>◦ ISBN</li> <li>◦ MMS ID</li> <li>◦ OCLC番号</li> <li>◦ 035フィールド</li> </ul>	51
発注明細	<p>発注明細リファレンス</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>注文明細参照番号は、1234ではなく、POL-1234のように、正確で不備のない注文明細番号である必要があります。</p> <hr/>	
冊子アイテム	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ アイテムID (またはPIDやアイテムPID)</li> </ul>	23

コンテンツタイプ	ヘッダー	IDの接頭語
	<hr/> <p><b>Note</b></p> <p>分析レポートから項目別セットを作成する場合、これは 物理的資料ID (23) です (書誌MMS IDではありません)。 詳細については、<a href="#">レコード番号</a>を参照してください。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>。 バーコード</li> </ul>	
冊子タイトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>。 PID</li> </ul> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>分析レポートから項目別セットを作成する場合、これはIEP (21) または物理的資料ID (23) です (書誌MMS IDではありません)。 詳細については、<a href="#">レコード番号</a>を参照してください。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>。 ISSN</li> <li>。 ISBN</li> <li>。 MMS ID</li> <li>。 OCLC番号</li> <li>。 035フィールド</li> </ul>	21
物理的所蔵	<ul style="list-style-type: none"> <li>。 所蔵ID</li> </ul>	
リーディングリスト	READING_LIST_CODE	
ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>。 バーコード</li> <li>。 ユーザー名 (デフォルトのプライマリID)</li> <li>。 PRIMARYIDENTIFIER</li> <li>。 機関ID</li> <li>。 Facebook</li> <li>。 Google</li> <li>。 Twitter</li> </ul>	
ベンダー	ベンダーコード	

- 完了したら、作成を選択します。
- このファイル入力方法を使用した場合、システムはジョブを実行してセットを構築し、それが完了するとセットのリストに表示されます。結果として得られるセット内のレコード/メンバーの数は、入力ファイル内のエントリーの数より多い場合も少ない場合もあります。たとえば、AlmaデータベースでISBNに複数の一致がある場合、見つかったすべての一致がメンバーとしてセットに追加されます。一致が見つからない場合、セットには追加されません。実行される他のジョブと同様、「ジョブの監視」ページでジョブのステータスや履歴を表示できます ([実行中のジョブの表示](#)および[完了したジョブの表示](#)を参照)。

## Note

- 。ファイル入力方式を使用して[メンバーを設定に追加]ジョブを実行すると、送信されたファイルがMMS ID、ポートフォリオID、プライマリIDなどの1?1の識別子のリストを使用している場合、結果のジョブリポートには?証ファイルが含まれます。
- 。[設定メンバーを追加]ジョブが、識別子ごとに多くの一致が発生する可能性のある識別子を使用して実行される場合、ジョブリポートに?証ファイルはありません。

## Note

項目別セットの場合:レコードがネットワーク機関にリンクされており、コンテンツをクリックすると表示される場合、「ネットワーク」アイコンはクリックできません。

## 検索結果からアイテム別セットを作成する

検索結果ページで特定のアイテムを選択し、それらのアイテムを含むアイテム別セットを作成できます。既存のセットに項目を追加するには、「[項目別セットの編集](#)」を参照してください。「[Almaで検索](#)」も併せて参照してください。

## Note

これは現在、すべてのタイトルでサポートされています。今後は他の検索も追加される予定です。

?索結果ページでアイテム別セットを作成するには:

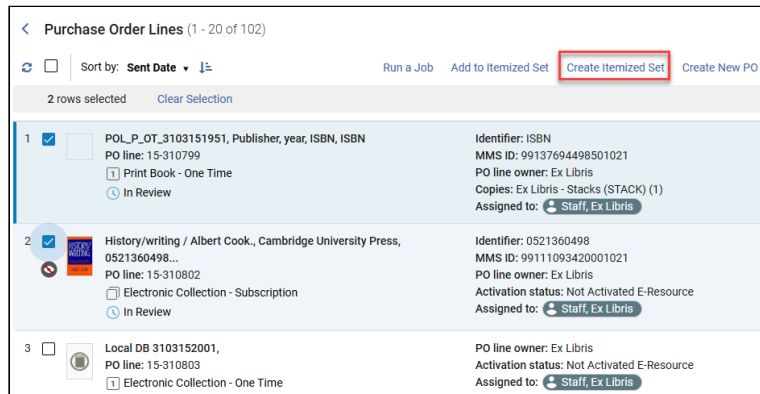
1. 検索結果ページで、セットに追加するアイテムを選択します。

The screenshot shows the Alma search results page for the query "Keywords Contains Keywords 'art'". The page displays a list of three items. The second item, "Art / Mike Evans, general editor. aaaaaaaabbb", is selected, indicated by a blue checkmark in a red box. The interface includes search filters, sorting options, and a sidebar with navigation links.

Item ID	Title	Format	Selected
1	Art (Book - Electronic) text; computer; online resource By Cumming, Robert ([Place of publication not identified] DK Publishing 2005) Subject Art--Handbooks, manuals, etc.; Visual Arts; Art, Architecture & Applied Arts and others Series Eyewitness companions Art Modification Date 02/12/2019 13:41:39 PM IST	Electronic (1)	<input type="checkbox"/>
2	Art / Mike Evans, general editor. aaaaaaaabbb Book (Book - Physical) By Evans, Mike, (London : New York, NY : Cassell Illustrated 2008.) Subject Art, Modern--History--Chronology. Modification Date 03/03/2024 10:13:22 AM IST	Physical (2) Collections (1)	<input checked="" type="checkbox"/>
3	Art, by Clive Bell. Book (Book - Physical) By Bell, Clive, (New York, Stokes [1914]) Subject Art; Art--History; Aesthetics. Modification Date 19/01/2020 12:05:55 PM IST		<input type="checkbox"/>

アイテム別セット詳細ページ

2. アイテム別セットの作成ボタンを選択します。



3. 各フィールドにセットの詳細を入力します。セット名は必須フィールドであり、他と重複してはいけません。

セット名に特殊文字を含めることはできません (例: &、#、\$、%)。

4. オプションとして、説明またはメモを含めることで、セットに追加情報を含めることができます。
5. このページの冒頭で説明したように、セットのコンテンツタイプで使用可能なオプションは、権限によって異なります。
6. デフォルトでは、セットはプライベートとして指定されています (
  - )。つまり、このセットはあなたとリポジトリマネジャーのロールを有するユーザーだけが使用できます。チェックボックスの選択を解除すると (
    - )、セットはパブリックセットになり、他のすべてのユーザーが使用できるようになります。
7. デフォルトでは、ステータスはアクティブに設定されています (
  - )。オプションでチェックボックスの選択を解除し (
    - )、セットを非アクティブにします。非アクティブセットは手動ジョブの実行時にユーザーが選択することはできません。

- コンテンツの出典フィールドは、ソースレコードの出典を示し、機関のみに設定されています。
- 完了したら、作成を選択します。
- このファイル入力方法を使用した場合、システムはジョブを実行してセットを構築し、それが完了するとセットのリストに表示されます。結果として得られるセット内のレコード/メンバーの数は、入力ファイル内のエントリーの数より多い場合も少ない場合もあります。たとえば、AlmaデータベースでISBNに複数の一致がある場合、見つかったすべての一致がメンバーとしてセットに追加されます。一致が見つからない場合、セットには追加されません。実行される他のジョブと同様、「ジョブの監視」ページでジョブのステータスや履歴を表示できます ([実行中のジョブの表示](#)および[完了したジョブの表示](#)を参照)。

## Note

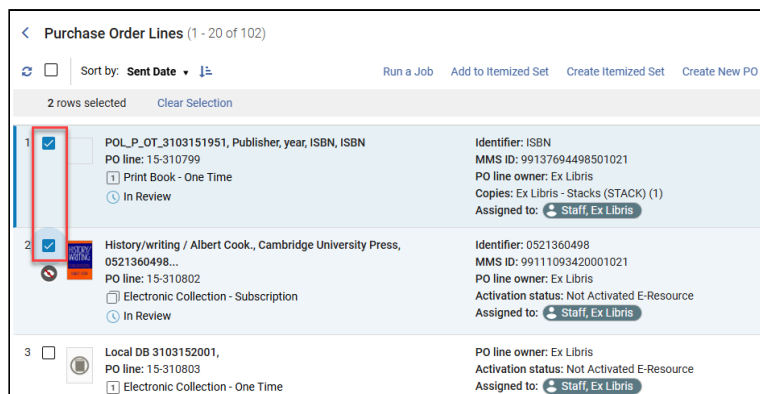
項目別セットの場合:レコードがネットワーク機関にリンクされており、コンテンツをクリックすると表示される場合、「ネットワーク」アイコンはクリックできません。

## PO Lineから項目別セットを作成する

PO Lineリストで特定のPO Lineを選択し、それらを含む項目別セットを作成できます。既存のセットにPO Lineを追加するには、「[項目別セットにPO Lineを追加する](#)」を参照してください。

? 索結果ページでアイテム別セットを作成するには:

- PO Lineのリストで、セットの作成に使用するPO Lineを選択します。



The screenshot shows a table of Purchase Order Lines. The table has columns for selection, PO line details, and metadata. The first two rows are selected, indicated by blue checkboxes and a red box highlighting the selection area.

Selection	PO Line Details	Metadata
<input checked="" type="checkbox"/>	POL_P_OT_3103151951, Publisher, year, ISBN, ISBN PO line: 15-310799 Print Book - One Time In Review	Identifier: ISBN MMS ID: 99137694498501021 PO line owner: Ex Libris Copies: Ex Libris - Stacks (STACK) (1) Assigned to: Staff, Ex Libris
<input checked="" type="checkbox"/>	History/writing / Albert Cook., Cambridge University Press, 0521360498... PO line: 15-310802 Electronic Collection - Subscription In Review	Identifier: 0521360498 MMS ID: 99111093420001021 PO line owner: Ex Libris Activation status: Not Activated E-Resource Assigned to: Staff, Ex Libris
<input type="checkbox"/>	Local DB 3103152001, PO line: 15-310803 Electronic Collection - One Time	PO line owner: Ex Libris Activation status: Not Activated E-Resource Assigned to: Staff, Ex Libris

- アイテム別セットの作成ボタンを選択します。

Purchase Order Lines (1 - 20 of 102)	
<input type="checkbox"/> Sort by: <b>Sent Date</b> ▾   <a href="#">Run a Job</a>   <a href="#">Add to Itemized Set</a>   <a href="#">Create Itemized Set</a>   <a href="#">Create New PO</a>	
2 rows selected <a href="#">Clear Selection</a>	
<input checked="" type="checkbox"/> 1	POL_P_OT_3103151951, Publisher, year, ISBN, ISBN PO line: 15-310799 <input type="checkbox"/> Print Book - One Time <input type="checkbox"/> In Review Identifier: ISBN MMS ID: 99137694498501021 PO line owner: Ex Libris Copies: Ex Libris - Stacks (STACK) (1) Assigned to: <a href="#">Staff, Ex Libris</a>
<input checked="" type="checkbox"/> 2	History/writing / Albert Cook., Cambridge University Press, 0521360498... PO line: 15-310802 <input type="checkbox"/> Electronic Collection - Subscription <input type="checkbox"/> In Review Identifier: 0521360498 MMS ID: 99111093420001021 PO line owner: Ex Libris Activation status: Not Activated E-Resource Assigned to: <a href="#">Staff, Ex Libris</a>
<input type="checkbox"/> 3	Local DB 3103152001, PO line: 15-310803 <input type="checkbox"/> Electronic Collection - One Time PO line owner: Ex Libris Activation status: Not Activated E-Resource Assigned to: <a href="#">Staff, Ex Libris</a>

- 各フィールドにセットの詳細を入力します。セット名は必須フィールドであり、他と重複してはいけません。

## Note

セット名に特殊文字を含めることはできません (例: &、#、\$、%)。

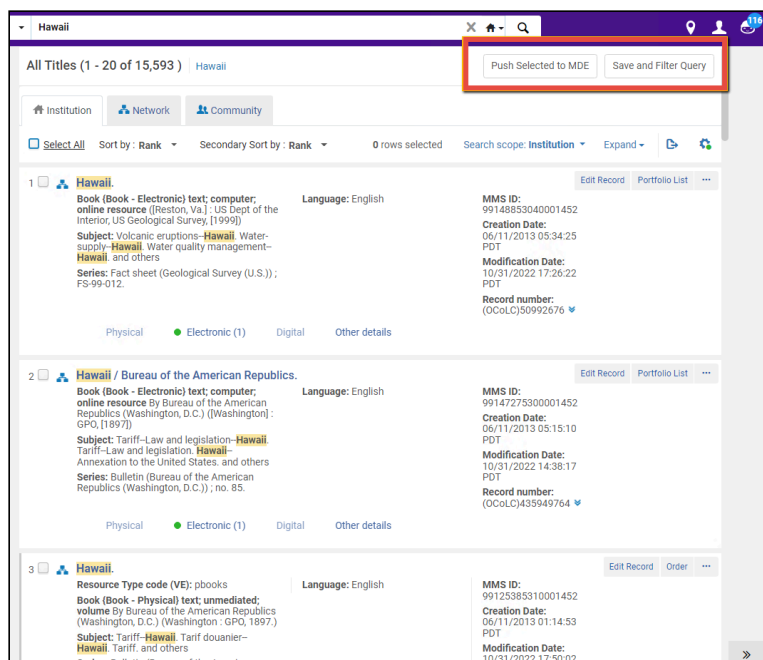
Itemized Set Details

Set name*	Set Type
<input type="text" value="History"/>	<b>Itemized</b>
Description	Content Origin
<input type="text" value="Enter description"/>	-
Note	<input checked="" type="checkbox"/> Private
<input type="text" value="Enter note"/>	<input checked="" type="checkbox"/> Active
Set Content Type	
<b>Order lines</b>	

- オプションとして、説明またはメモを含めることで、セットに追加情報を含めることができます。
- デフォルトでは、セットはプライベートとして指定されています (
  - )。つまり、このセットはあなたとリポジトリマネジャーのロールを有するユーザーだけが使用できます。チェックボックスの選択を解除すると (
    - )、セットはパブリックセットになり、他のすべてのユーザーが使用できるようになります。
- デフォルトでは、ステータスはアクティブに設定されています(
  - )。オプションでチェックボックスの選択を解除し (
    - )、セットを非アクティブにします。非アクティブセットは手動ジョブの実行時にユーザーが選択することはできません。
- コンテンツの出典フィールドは、ソースレコードの出典を示しています。
- 完了したら、作成を選択します。

## リソース管理セット

リソース管理セット (タイトル、典拠、コレクション、または何らかの目録) の場合、汎用検索ページが開きます。簡易検索または詳細検索を使用して、セットに追加したいコンテンツを検索します。ページが更新され、検索結果が表示されます。詳細については、[Almaでの検索](#)を参照してください。



### アイテムセットのリポジトリ検索結果

セットに含めたいアイテムを選択し、クエリの保存とフィルタリングを選択します。選択したレコードがセットに追加されます。アイテムの数が多い場合、アイテムをセットに追加するには、セットメンバーの管理ジョブを実行します；結果を見るには、[完了したジョブの表示](#)を参照してください。

すべてのタイトルで検索を実行する場合は、結果の全ページの全アイテムを追加できます：すべてを追加を選択し、確認ダイアログボックスで確認を選択します。

アイテムセットの場合、レコードの検索・選択・追加を続行できます；ロジカルセットの場合、現在の検索クエリがセットを定義します。終了したら、完了を選択します。アイテムセットが保存されます。「セットの管理」ページが開き、新しいセットや更新されたセットが表示されます。

## 図書リストのセット

図書リストのセットの場合、事前に選択された図書リストを検索できるページが表示されます；詳細については、[リソース管理セット](#)を参照してください。

## 注文明細セット

注文明細セットの場合、注文明細の検索が事前選択された検索ページが表示されます。詳細については、[リソース管理セット](#)を参照してください。

---

## ベンダーのセット

ベンダーのセットの場合、「ベンダーの検索」ページが開きます。

Vendor Code	Name	Vendor Type	Libraries
1 <input type="checkbox"/> ACL	Antonio's Casa de Libri	Material Supplier	Clean Training(Including)
2 <input type="checkbox"/> ASP	Alexander Street Press	Material Supplier, Access Provider, Licensor	Clean Training(Including)
3 <input type="checkbox"/> BAKER	Baker & Taylor	Material Supplier	Clean Training(Including)
4 <input type="checkbox"/> BKHS	The Bookhouse, Inc.	Material Supplier	Clean Training(Including)
5 <input type="checkbox"/> BKSJ	Book Sense	Material Supplier	Clean Training(Including)
6 <input type="checkbox"/> BOOKS247	Books 24x7, Inc.	Material Supplier, Access Provider, Licensor	Clean Training(Including)
7 <input type="checkbox"/> BRILL	Brill Online	Material Supplier, Access Provider	Clean Training(Including)
8 <input type="checkbox"/> BRITONLINE	Britannica	Access Provider	Clean Training(Including)
9 <input type="checkbox"/> COUTTS	Coutts Information Services	Material Supplier	Clean Training(Including)
10 <input type="checkbox"/> DAWSON	Dawson	Material Supplier	Clean Training(Including)
11 <input type="checkbox"/> EBR	EBSCO Electronic	Material Supplier, Access Provider	Clean Training(Including)
12 <input type="checkbox"/> EBSCO	EBSCO PUBLISHING	Material Supplier	Clean Training(Including)
13 <input type="checkbox"/> ELSCI	Elsevier Science	Material Supplier	Clean Training(Including)
14 <input type="checkbox"/> GALE	Gale	Material Supplier, Access Provider	Clean Training(Including)
15 <input type="checkbox"/> HARR	HARRASSOWITZ OTT	Material Supplier	Clean Training(Including)

### ベンダーの検索

セットに含めたいアイテムを選択し、選択したものを追加するを選びます。選択したレコードがセットに追加されます。

アイテムセットの場合、レコードの検索・選択・追加を続行できます；ロジカルセットの場合、現在の検索クエリがセットを定義します。終了したら、完了を選択します。アイテムセットが保存されます。「セットの管理」ページが開き、新しいセットや更新されたセットが表示されます。

---

## ユーザーセット

ユーザーセットの場合、「ユーザーの検索と管理」ページが開きます。

Name	Account Type	Record Type	Job Category	User Group	Status	Expiration date	Blocks	Notes
1 <input type="checkbox"/> Abutbul, Nir	Internal	Public	-	Academic Staff	Active	-		
2 <input type="checkbox"/> Abutbul, Noam	Internal	Staff	Fulfillment Manager	Staff	Active	-		
3 <input type="checkbox"/> Acquisitions, Alma	Internal	Staff	Acquisitions Manager	Staff	Active	-		
4 <input type="checkbox"/> Administrator, Alma	Internal	Staff	General Administrator	Staff	Active	-		
5 <input type="checkbox"/> Administrator, Leganto	Internal	Staff	-	Staff	Active	-		
6 <input type="checkbox"/> Administrator, User	Internal	Staff	-	Staff	Active	-		
7 <input type="checkbox"/> Allen, Norene	Internal	Public	-	Faculty	Active	2021/05/31 08:22:20 CDT		
8 <input type="checkbox"/> Alma, AlmaUser1	Internal	Staff	-	Staff	Active	2017/05/10 23:59:59 CDT		
9 <input type="checkbox"/> Altenberg, Hans-Henning	Internal	Public	-	Faculty	Active	-		
10 <input type="checkbox"/> Andress, Barbara	Internal	Public	-	Undergraduate Student	Active	-		

### ユーザーの検索と管理

セットに含めたいアイテムを選択し、選択したものを追加するを選びます。選択したレコードがセットに追加されます。

アイテムセットの場合、レコードの検索・選択・追加を続行できます；ロジカルセットの場合、現在の検索クエリがセットを定義します。終了したら、完了を選択します。アイテムセットが保存されます。「セットの管理」ページが開き、新しいセットや更新されたセットが表示されます。

---

## Esploroのセット

Esploroのセットを作成するオプションは、貴機関でEsploroが有効な場合にのみ表示されます。[Esploroの概要](#)を参照してください。

### 研究者のセット

「研究者の検索と管理」ページが開きます。[研究者の管理](#)を参照してください。

セットに含めたいアイテムを選択し、**選択したものを追加する**を選びます。選択したレコードがセットに追加されます。

アイテムセットの場合、レコードの**検索・選択・追加**を続行できます；ロジカルセットの場合、現在の**検索クエリ**がセットを定義します。終了したら、**完了**を選択します。アイテムセットが保存されます。「セットの管理」ページが開き、新しいセットや更新されたセットが表示されます。

### リサーチアセットのセット

リサーチアセットを検索できる汎用検索ページが開きます。簡易検索または詳細検索を使用して、セットに追加したいコンテンツを検索します。ページが更新され、検索結果が表示されます。詳細については、[リサーチアセットの管理](#)を参照してください。

セットに含めたいアイテムを選択し、**選択したものを追加する**を選びます。選択したアセットがセットに追加されます。アイテムの数が多の場合、アセットをセットに追加するには、セットメンバーの**管理ジョブ**を実行します；結果を見るには、[完了したジョブの表示](#)を参照してください。

アイテムセットの場合、アセットの**検索・選択・追加**を続行できます；ロジカルセットの場合、現在の**検索クエリ**がセットを定義します。終了したら、**完了**を選択します。アイテムセットが保存されます。「セットの管理」ページが開き、新しいセットや更新されたセットが表示されます。

---

## 貸出ステータスに基づいた項目別セットの作成

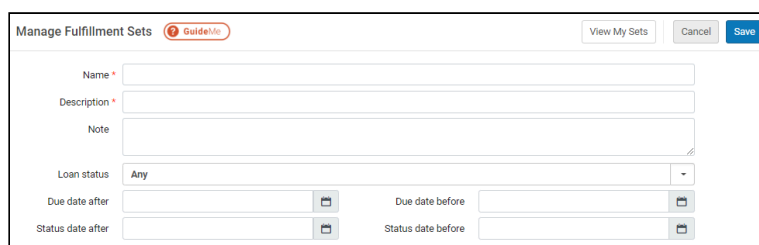
フルフィルメント管理者またはリクエストオペレーターは、貸出ステータスに基づいて、冊子アイテムのアイテムセットを作成できます。これは、フルフィルメントセットの管理ページで行います。

---

### Note

このタイプのセットには、アクティブな貸出のみを含めることができます。

---



「フルフィルメントセットの管理」ページ

貸出ステータスに基づいて冊子アイテムのアイテムセットを作成するには、次の手順を実行します:

1. フルフィルメントセットの管理ページ (フルフィルメント > 高度なツール > フルフィルメントセットの作成) で、次のようにフィールドに入力します:

フルフィルメントセットの管理ページ フィールド

フィールド	説明
名称 (必須)	セットの名称。
説明 (必須)	セットの説明。
メモ	セットに関するメモ。
以降の返却期日	示された日付以降の返却期日を持つアイテムの貸出がセットに含まれます。
以前の返却期日	示された日付以前の返却期日を持つアイテムの貸出がセットに含まれます。
以降のステータス日付	示された日付以降にステータスが変更されたアイテムの貸出がセットに含まれます。
以前のステータス日付	示された日付以前にステータスが変更されたアイテムの貸出がセットに含まれます。
貸出ステータス	示されたステータスに一致するアイテムの貸出がセットに含まれます。可能な値は以下の通りです: <ul style="list-style-type: none"><li>。 通常</li><li>。 リコール</li><li>。 更新</li><li>。 紛失</li><li>。 返却済の申出あり</li><li>。 すべて</li></ul>

2. 保存を選択します。セットが保存され、フルフィルメントの管理セットページのフィールドがクリアされ、別のフルフィルメントセットを作成できるようになります。

## Note

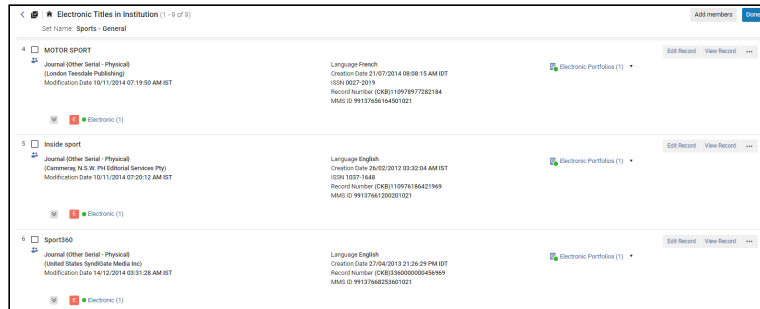
「セットの管理」ページを開くには、マイセットの表示を選択します。

## アイテムセットのメンバーの表示と削除

アイテムセットのメンバー (選択したアイテム) を表示または削除できます。

アイテムセットのメンバーを表示するには:

1. セットの管理ページ (管理 > ジョブとセットの管理 > セットの管理) で、セットを見つけて、行のアクションリストでコンテンツを選択します。メンバーのリストが表示されます:



## アイテム別セットメンバー

セット内のアイテムを表示するには、項目別セットにメンバーを追加するときにセットを表示ボタンを選択します ([アイテムセットにアイテムを追加する](#)を参照)。

アイテムセットの1つ以上のメンバーを削除するには：

1. メンバーを表示します。
  - 複数のメンバーの場合 – 削除したいメンバーを選択し、セットから削除を選択します。
  - 1つのメンバーの場合 – その行のアクションリストで削除を選択します。
2. [完了]を選択します。  
 セットからメンバーを削除する場合は、[完了]を選択するか、[戻る] ボタンを使用して変更を保存します。

## Note

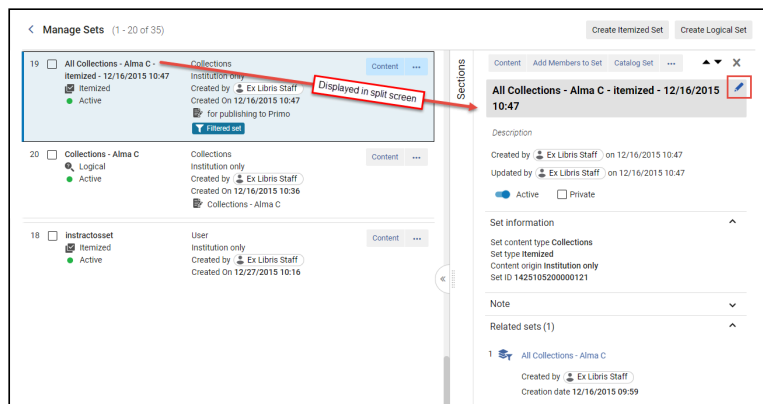
レコードを削除する別の方法は、不要なレコードのセットを作成し、[セットの結合]操作で ([\[セットの結合\]](#)を参照) 「Not」演算子を使用します。

## アイテムセットの編集

セットの詳細は以下のように編集できます。

セットの詳細を編集するには：

1. セットの管理ページ ([アドミン > ジョブとセットの管理 > セットの管理](#)) で、編集したいアイテム別セットまでスクロールして選択します。設定内容は分割画面で表示されます。



セット詳細ページでアイテムセットを編集

2. 分割画面で、編集するセクションの上にカーソルを置き、編集アイコン (以下のカッコ内) を選択します(



)。必要に応じてセットの詳細を**変更**します。セット名は必須フィールドであり、一意である必要があります (フィールドの説明については、[アイテム別セットの追加を参照してください](#))。

3. 更新したセクションから離れると、Almaは次のような表示とともに**変更**を保存します(

Saved

)。

## アイテムセットへのアイテムの追加

### セットの管理からセットに項目を追加する

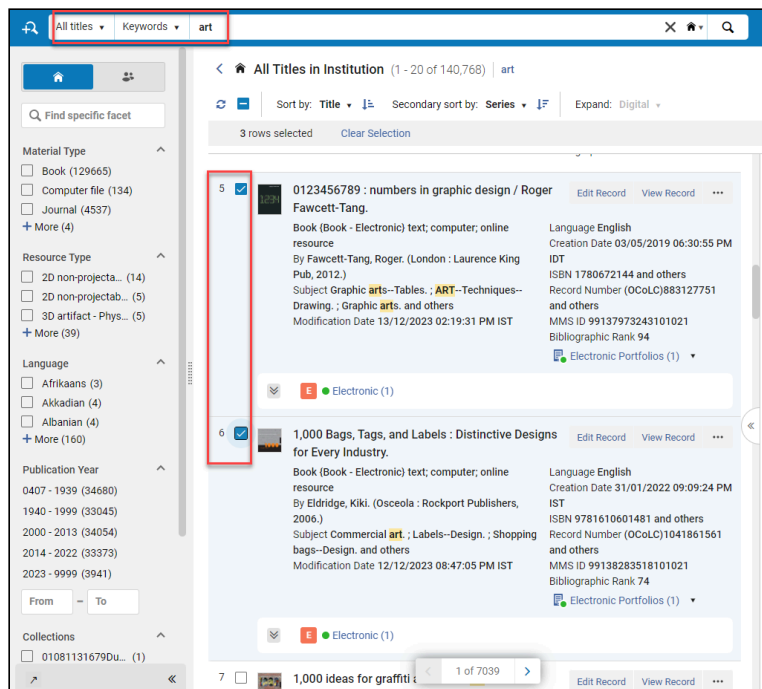
セットの管理ページからアイテム別セットにアイテムを追加するには:

1. セットの管理ページ (アドミン > ジョブとセットの管理 > セットの管理) で、アイテムを追加したいアイテム別セットまでスクロールし、コンテンツ ボタンを選択します。編集ページが開きます。または、行アクションメニューまたは詳細ペインからセットにメンバーを追加するを選択し、以下の手順3に従って検索パラメータを入力します。
2. メンバーを追加を選択し、検索クエリを入力します。
3. 検索パラメータを入力して検索を選択します。
4. セットに含めたいアイテムを選択し、選択されたアイテムを追加、またはすべてのアイテムを選択を選択します。
5. 「セットを表示」を選択し、新しいセットの内容を表示します。ここから、メンバーを追加を選択してセットに新しいメンバーを追加できます。または、セットの管理ページに戻るには、終了を選択します。

### すべてのタイトルからセットに項目を追加する

すべてのタイトル? 検索結果ページからアイテム別セットにアイテムを追加するには:

1. すべてのタイトル検索結果ページで、追加する項目を選択します。



2. アイテム別セットに追加ボタンを選択します。



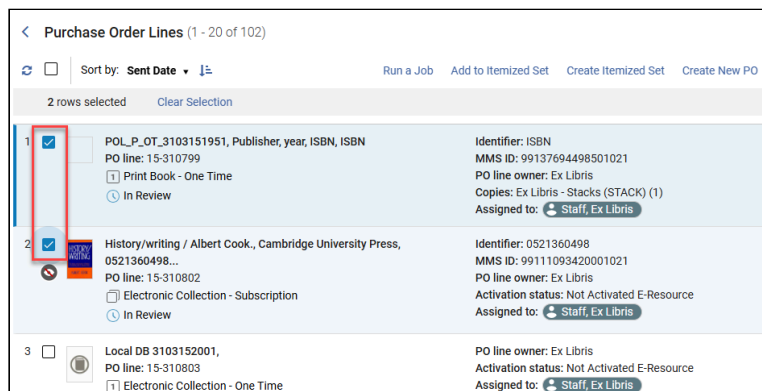
3. アイテムを追加したいセットを選択し、選択ボタンをクリックします。

## セットにPO Lineを追加する

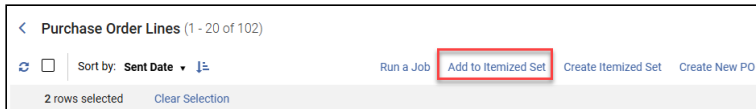
PO Line リストからアイテムセットに PO Line を追加できます。PO Line からアイテムセットを作成する方法については、[「PO Line からアイテムセットを作成する」を参照してください。](#)

**PO Line**タスクリストから項目別セットに**PO Line**を追加するには：

1. PO Lineのリストで、セットに追加するPO Lineを選択します。



- アイテム別セットに追加ボタンを選択します。



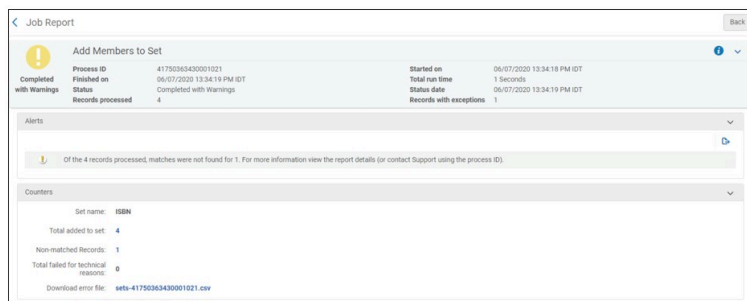
- アイテムを追加したいセットを選択し、**選択**ボタンをクリックします。

## アイテムセットに基づいてAlmaレコードに一致するレコードを特定する

機関は頻繁に外部システム（ベンダーシステムなど）で使用されるレコード識別子のリストを取得します。購入決定を容易にするために、このリストをAlmaにロードし、Almaにすでにあるものとないもののリストを簡単に取得できます。

一致するまたは一致しないレコードのリストを取得するために、Almaレコードは：

1. Almaに識別子の入力ファイルをロードします（[アイテムセットの作成](#)を参照）。Almaはジョブを実行してセットを作成し、〔セットにメンバーを追加する〕レポートを生成します。



2. 以下のうち一つを実行して下さい：

- Almaレコードと一致するものが見つからなかったレコードのファイルをダウンロードするには、「不一致レコード」のカウンターをクリックして、Almaレコードと一致するものが見つからなかった識別子の .csv ファイルをダウンロードします。以下に例を示します。

	A	B
1	ISBN	
2	9787010199955	
3	9787509589311	
4	9787105155804	
5	9787101135930	
6	9787521702095	
7	9787507756340	
8	9787521802894	
9	9787560762470	
10	9787100167925	

- Almaレコードと一致するレコードのファイルをダウンロードするには、**[追加された合計]**のカウンターをクリックして、Almaレコードと一致する識別子の .csv ファイルをダウンロードするように設定します。このファイルには、一致が見つかったレコードのIDを示す追加の列があります。以下に例を示します。

	A	B
1	ISBN	Alma ID
2	8251601568	999920057304802202;999923057304802202
3	444	999214640964702202

このファイルは、設定されたコンテンツタイプごとに次のAlma IDを提供します。

セットコンテンツタイプ	Alma ID
コレクション	PID
デジタルファイル	PID
電子コレクション	PID
電子ポートフォリオ	PID
冊子アイテム	バーコード
POL	POL番号
リーディングリスト	リーディングリストコード
タイトル	MMS ID
ユーザー	プライマリID
ベンダー	ベンダーコード

## ロジカルセットの作成

リポジトリセットの場合、ロジカルセットは保存されたクエリと同じです：論理セット内のアイテムは、クエリを実行することによって毎回決定されます。

他の種類のセットの場合、検索ページの結果をフィルタリングすることによりロジカルセットが作成されます。

### Note

ロジカルセットは検索から作成することもできます。詳細については、[検索クエリの保存と再利用](#)を参照してください。

ロジカルセットを作成するには：

1. セットの管理ページ (アドミン > ジョブとセットの管理 > セットの管理) で、ロジカルセットの作成 ボタンを選択します。セット詳細ページが開きます。

Logical Set Details

Set name* <input type="text" value="Enter name"/>	Set type <b>Logical</b>
Description <input type="text" value="Enter description"/>	Content origin <input type="text" value="Institution only"/>
Note <input type="text" value="Enter note"/>	<input checked="" type="checkbox"/> Private
Set content type <input type="text" value="All Titles"/>	<input checked="" type="checkbox"/> Active

ロジカルセットのセット詳細ページ

- 各フィールドにセットの詳細を入力します。セット名は必須フィールドであり、他と重複してはいけません。ご注意ください。

### Note

セット名に特殊文字を含めることはできません (例：&、#、\$、%)。

- このページの冒頭で説明したように、セットのコンテンツタイプで使用可能なオプションは、権限によって異なります。
- デフォルトでは、セットはプライベートとして指定されています (
  - )。つまり、このセットはあなたとリポジトリマネジャーのロールを有するユーザーだけが使用できます。チェックボックスの選択を解除すると (
    - )、セットはパブリックセットになり、他のすべてのユーザーが使用できるようになります。
- デフォルトでは、ステータスはアクティブに設定されています(
  - )。オプションでチェックボックスの選択を解除し (
    - )、セットを非アクティブにします。非アクティブセットは手動ジョブの実行時にユーザーが選択することはできません。
- コンテンツの出典フィールドは、ソースレコードの出典を示し、機関のみに設定されています。
- 作成するを選択します。選択したコンテンツタイプの検索ページが開きます。
  - [リソース管理セット](#)
  - [図書リストのセット](#)
  - [注文明細セット](#)
  - [ベンダーのセット](#)
  - [ユーザーセット](#)
- リポジトリのセットの場合、セットの検索パラメータを入力します。リポジトリ検索の抑制パラメータは、メタデータエディタ経由で実施された抑制のみを考慮し、場所によって設定された抑制は考慮しないことに注意してください

い。他の種類のセットの場合、リストをフィルタリングして、セットのパラメータを決定します。

## Note

キーワードに\*を含めるは、ロジカルセットの基礎として使用しないことをお勧めします。サプレスされたタグ（タイトル）が、「いいえ」に等しいといった語句のほうが、より効率的です。

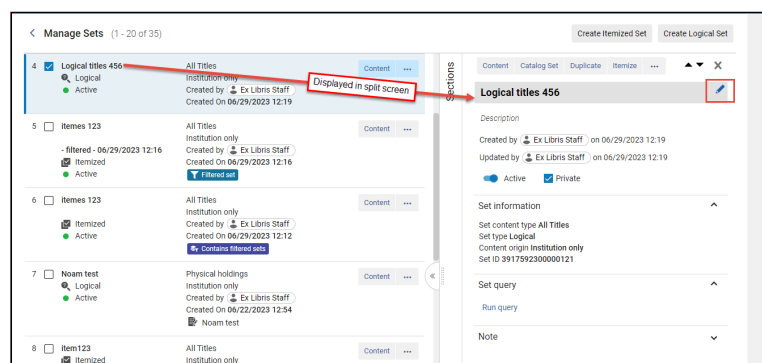
9. 保存を選択します。ロジカルセットが保存されます。

## ロジカルセットの詳細の編集

ロジカルセットの詳細を編集できます。セットの内容を変更するには、[ロジカルセットのクエリの編集](#)を参照してください。

ロジカルセットを編集するには：

1. セットの管理ページ（[アドミン](#) > [ジョブとセットの管理](#) > [セットの管理](#)）で、編集したいロジカルセットまでスクロールして選択します。設定内容は分割画面で表示されます。



セット詳細ページでロジカルセットを編集

2. 分割画面で、編集するセクションの上にカーソルを置き、編集アイコン（以下のカッコ内）を選択します（



）。必要に応じてセットの詳細を変更します。セット名は必須フィールドであり、他と重複してはいけません。（フィールドの説明については、[ロジカルセットの作成](#)を参照してください。）

3. 更新したセクションから離れると、Almaは次のような保存済み表示とともに変更を保存します（

Saved

）。

## 論理セットのコンテンツの表示

論理セットのコンテンツ（つまり、論理セットを使用して検索を実行した際に返されるレコード）を表示できます。ロジカルセットの母集団は、現在リポジトリにあるレコードを反映して動的に決定されます。

論理セットのコンテンツを表示するには、「セットの管理」ページで（[\[管理\]](#) > [\[ジョブとセットの管理\]](#) > [\[セットの管理\]](#)）、コンテンツを表示する論理セットまでスクロールし、[\[コンテンツ\]](#)を選択します。コンテンツタイプに応じて、[検索](#)

ページが開きます：

- [リソース管理セット](#)
- [図書リストのセット](#)
- [注文明細セット](#)
- [ベンダーのセット](#)
- [ユーザーセット](#)

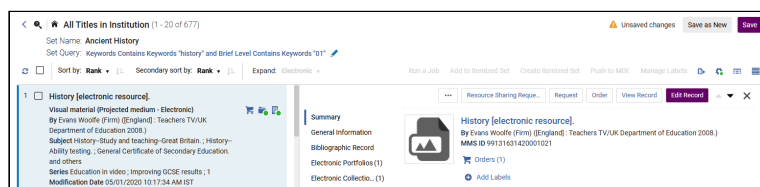
---

## ロジカルセットのクエリの編集

ロジカルセットのクエリを編集できます。

リソース管理ロジカルセットのクエリを編集するには：

1. セットの管理ページ(アドミン > ジョブとセットの管理 > セットの管理)で、クエリを編集したいロジカルセットまでスクロールし、コンテンツ ボタンを選択します。クエリの検索ページが開きます。
2. 必要に応じて検索を変更します。



詳細検索の変更ページ

3. セットを保存するには、保存を選択し、確認します。
4. セットを新しい名前でも保存することもできます - 「[既存の論理セットクエリから新しいセットを作成する](#)」を参照してください。

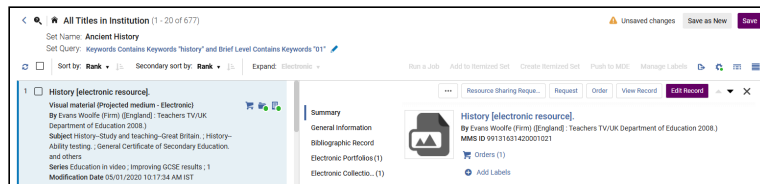
---

## 既存の論理セットクエリから新しいセットを作成する

既存の論理セットクエリから新しいセットを作成することができます。

既存の論理セットクエリから新しいセットを作成するには：

1. セットの管理ページ([管理] > [ジョブとセットの管理] > [セットの管理])で、新しいセットのベースとして使用したいクエリを持つ論理セットまでスクロールします。
2. [コンテンツ] ボタンを選択します。クエリの検索ページが開きます。
3. 必要に応じて、検索クエリやファセットを変更します。
4. [新規として保存] ボタンを選択します。



新規として保存する

5. 論理セットの詳細を更新し、[新規保存]を選択します。

Logical Set Details

Keywords Contains Keywords "artists" and (Material Type Equals "Book" or Material Type Equals "Computer file")

Set name\*  Set Type **Logical**

Description  Content Origin **Institution only**

Note   Private

Set Content Type **All Titles**  Active

## ロジカルセットをアイテムセットに変換する

ロジカルセットに完全な結果セットがある場合は、それをアイテム別セットとしてキャプチャできます。これにより、元のロジカルセットが保持され、現在の結果のスナップショットが新しいアイテム別セットとして作成されます。

ロジカルセットをアイテムセットに変換するには：

1. 「セットの管理」ページで(アドミン>ジョブとセットの管理>セットの管理)、アイテムセットに変換したいロジカルセットまでスクロールし、その行のアクションリストでアイテム化を選択します。新しいアイテム別セットページが開き、セット名が入力されます。

New Itemized Set

Set name\*  Content origin

Description   Private

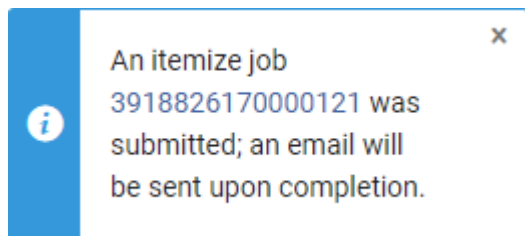
Note   Active

Set content type **All Titles**

**i** Submitting this process will create an itemized set with 4101 members.  
Note: Counts are approximate for large sets.

セット詳細ページでロジカルセットをアイテム別セットに変換する

2. 必要に応じてセットの詳細を変更します。フィールドの説明については、[アイテムセットの作成](#)を参照してください。
3. 作成するを選択します。確認メッセージが開きます。



4. アイテム別セットが作成されます。元のロジカルセットの関連セットセクションにも表示されます。元のロジカルセットは、アイテム別セットの関連セットセクションに表示されます ([セットの管理ページのセクション](#)を参照)。

---

## セットの結合

2つの既存のセットが同じタイプである限り、これらのセットのメンバーに基づいて新しいセットを作成できます (たとえば、2つの「全タイトル」検索セットや2つの「冊子タイトル」検索セットなら可能ですが、1つの「全タイトル」セットと1つの「冊子タイトル」セットなら不可です)。結合されたセットは、アイテムセットになります。

---

### Note

他のユーザーが作成したセットの組み合わせ結果を表示するには、リポジトリマネージャーの役職である必要があります。

---

セットを結合する詳細については、ビデオ [アイテムのセットを2つ結合する](#) (3分42秒) を参照してください。

1. 「セットの管理」ページで ([アドミン > ジョブとセットの管理 > セットの管理](#))、そのメンバーを別のセットと結合したいセットにスクロールし、その行のアクションリストでセットを結合するを選択します。セットの結合ページが開きます。

Combine Sets (All Titles)

Combine

all users set

Operation\*

And  Or  Not

With\*

items 123

New Combined Set (Itemized)

Set name\*

all users set - combined - 07/12/2023 16:32  Private

Description  Active

Enter description

Note

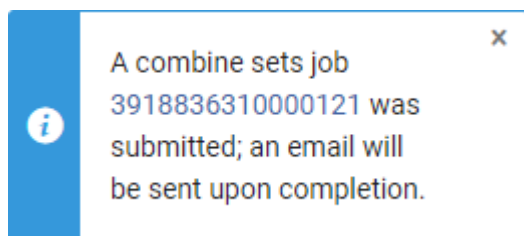
Enter note

Submitting this process will create an itemized set with 0-5 members.

Cancel Combine

セットの結合ページ

- 操作リストから操作を選択します：
  - および - 新しく結合したセット内で、2つのセット間で共通するメンバーのみを含めます。
  - ない - 新しく結合したセット内で、第二のセットではなく、第一のセットのメンバーのみを含めます。
  - または - 新しく結合したセット内の両方のセットのメンバーすべてを含めます。
- 結合先で、選択した第一のセットと結合したいセットを選択します。
- セット名フィールドに、結合されたセットの名前を入力するか、Almaのデフォルト名を使用します。
- 結合 ボタンを選択します。確認メッセージが表示されます。



セットを結合するジョブが実行されます。ジョブが終了すると、新しいセットがセットのリストに追加されます (新しいセットを表示するにはリストを更新する必要があります)。

- 結合したセットは、[関連セット](#) セクションに表示されます ([セットの管理](#) ページのセクションを参照)。
- 結合されたセットには次のバッジが表示されます：
  - 結合したセット - 新しい結合セット
  - 結合セットに使用 - 結合セットを作成するために使用された元のセット

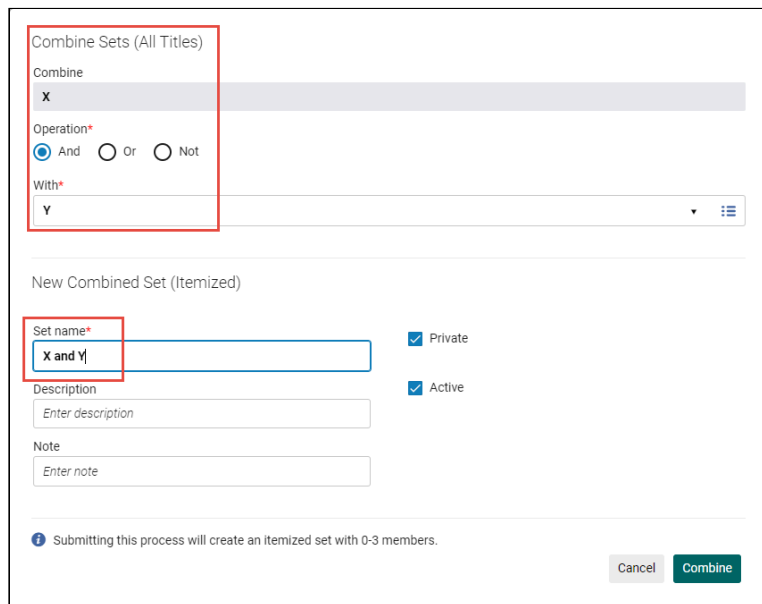
## セットの結合 - 例

以下は、セットを組み合わせて次のようなセットを作成する例です：

XとY

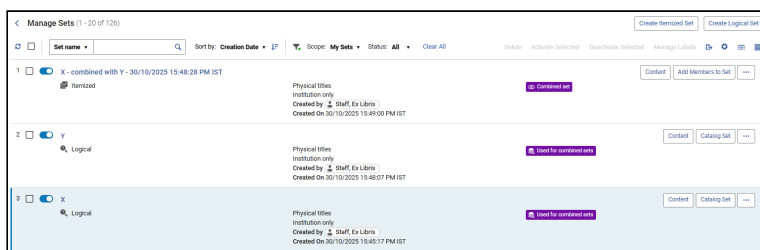
このセットを作成するには：

1. セットXとセットYを作成します。
2. セットXについて、その行のアクションリストでセットを結合するを選択します。
3. セットXとセットYを結合します：



セットXとセットYを結合する

4. 新しい組み合わせセットが利用可能になりました。



組合せセット

(2026年2月開始) 新しい組合せセットには、それが組合せセットであることを示すアイコンが付与され、その作成に使用されたセットは組合せセットに使用としてマークされます。

## アイテム、ポートフォリオ、またはファイルセットからタイトルセットを作成する

タイトルセットは、目録レコードのセットではなく、冊子アイテム、電子ポートフォリオ、デジタルファイルなどの書誌レコードのセットです。冊子アイテム、電子ポートフォリオ、またはデジタルファイルのアイテムセットからタイトルセットを作成できます。新しいセットには、元のセットのアイテムのタイトルが含まれます。

---

## Note

- タイトルセットは、リソース管理のコンテンツタイプからのみ作成できます。
  - ロジカルセットからタイトルセットを作成するには、まずそのセットをアイテムセットに変換する必要があります。
- 

タイトルセットを作成するには：

1. 「セットの管理」ページで(アドミン > ジョブとセットの管理 > セットの管理)、冊子アイテム、電子ポートフォリオ、またはデジタルファイルのアイテムセットの行のアクションリストでタイトルセットの作成を選択します。タイトルセットの作成 (アイテム別) ページが、新しいタイトルセットに関する情報 (セットが作成された日時など) がセット名に追加された形で開きます。

Create Titles Set (Itemized)

Set name\*  
Set - titles - 17/07/2023 17:38:47 PM IDT

Content origin  
Institution only

Description  
Set - titles - 17/07/2023 17:38:47 PM IDT

Note  
Enter note

Set content type  
All Titles

Private

Active

Submitting this process will create an "All titles" set based on a set with 1853 members.  
Note: Counts are approximate for large sets.

Cancel Create

タイトルセットの作成 (アイテム別) ページ

2. 説明フィールドとメモフィールド (オプション) に入力し、作成を選択します。確認メッセージが表示されます。ジョブが実行され、タイトルセットが作成されます。

---

## セットのフィルタリング

### Note

- フィルタリングセットは、リソース管理コンテンツタイプでのみ可能です。
  - セットのフィルタリングは、タイトル検索 (すべてのタイトル、物的タイトル、電子タイトル、デジタルタイトル) によって派生したセットに対してのみ可能です。
  - ユーザーは好みに基づいてフィルタを定義できます。フィルタリングされた検索は固定的であり、ユーザーがページを再訪問したときに保存されます。これにより、ユーザーは表示されたページの定義済みフィルタ設定を手動で再選択する必要がなくなります。
-

既存のセットをフィルタリングして、新しいアイテムセットを作成できます。フィルタリングセットは、索引化されていないメタデータ要素に基づくセットが必要な場合に役立ちます。属性が索引化されているかどうかにかかわらず、書誌レコードの内容に一致するレコードのみを含むようにセットを絞り込むことができます。

この機能は、表示ルールを使用して実装されます。表示ルールは、正規化ルールと同様に、柔軟なDroolsロジックを使用して、既存のセットをフィルタリングします（パブリックセットとプライベートセット両方）。Droolsロジックを使用すると、索引化されていないフィールドを含む可能性のある下記の例に示すように、セットをフィルタリングし、さまざまな特性に基づいて新しいセットを作成できます：

- 政府文書を除く (008フィールドのバイト28は#、空白、またはuに等しい)
- MARC 074または086フィールドを含まない書誌レコード
- 書誌レコードを印刷ジャーナルに制限する (リーダー06レコードタイプ= aか、リーダー07書誌レベル= s)

さらに、Droolsロジックを使用して、簡易書誌レコードや欠落したフィールドを確認できます。

セットのフィルタリングについては、ビデオ[Droolsロジックを使用したセットのフィルタリング](#) (3分24秒) を参照してください。

表示ルールを使用して既存のセットをフィルタリングするには：

---

#### Note

以下の最初のいくつかのポイントでは、[検索結果からフィルターセットページにアクセスする方法](#)について説明します。または、「セットの管理」ページで ([管理者 > ジョブとセットの管理 > セットの管理](#))、絞り込みたいメインセットを見つけ、その行のアクションリストでフィルターセットを選択します。

- 
1. 必要な表示ルールを作成し、MDエディターの共有フォルダに保存します。[表示ルールの作成](#)を参照してください。
  2. リポジトリのタイトル検索（すべてのタイトル、物的タイトル、電子タイトル、デジタルタイトル）のいずれかによって、セットに含めるアイテムを検索します。
  3. 検索結果画面で、目的のアイテムを選択し、「クエリの保存とフィルタリング」をクリックします。セット詳細ページが開きます。
  4. セットを定義し ([ロジカルセットの作成](#)を参照)、[保存とフィルタリング]を選択します。新しいページが開き、メインセットがバックグラウンドで作成されている間に、フィルタリングされたセットを作成できます。
  5. フィルターを選択しますこのセットは項目別にフィルタリングされたセットを作成します。フィルターセットページが表示されます。

Filter Set

Indication Rule\*

More than one 245

---

New Filtered Set (Itemized)

Set name\*

(X and Y) or Z - filtered - 07/12/2023 19:04  Private

Description  Active

Enter description

Note

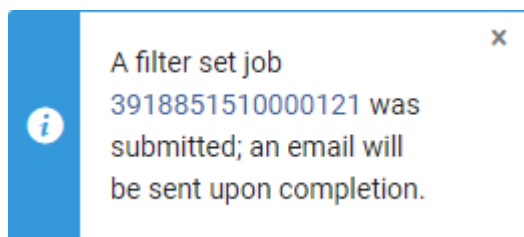
Enter note

**i** Submitting this process will create an itemized set from set with 3 members.  
Note: this job might take a while, you will be notified upon completion

Cancel Filter

セットのフィルタリングページ

- 表示ルールを選択します。表示ルールをドロップダウンに表示するには、ルールがローカルかつパブリックである必要があることに注意してください
- 新しいセット名を入力するか、自動生成されたセット名を使用して、要件に合わせて残りのオプションに記入し、フィルタリングを選択します。確認メッセージが表示されます。



フィルタリングリクエストを処理するために、指示によるセットのフィルタリングジョブが実行され、新しいアイテムセットが作成されます。フィルタリングのプロセスは、メインセット内のすべてのレコードを調べて、指定された表示ルールを適用します。表示ルールの条件を満たさないレコードは、セットからフィルターで除外されます。ジョブが完了すると、システムはリクエストを開始したユーザーにEメールを送信します。

- 確認メッセージで「確認」を選択します。
- 指示によるセットのフィルタリングジョブについて、「ジョブの監視」ページでジョブの結果や進捗状況を表示します ([実行中のジョブの表示](#)および[完了したジョブの表示](#)を参照)。結果を表示するには、アクション > リポートを選択します。リポートには、処理されたレコードの数と、新しくフィルタリングされたセットで作成されたレコードの数が表示されます。
- 新しいセットがメインセットの[セットの詳細]ページに表示されます。リンクをクリックして開きます。このページから指示ルールを選択して、別のフィルタリングされたセットを作成することもできます。
- このセットが作成された元のセットの同様のセクションが[セットの詳細]ページに表示され、フィルタリング処理されたすべてのセットがリスト表示されます。
- 元のセットは、新しくフィルタリングされたセットの関連セットセクションに表示されます。
- ジョブが完了すると、新しいセットと元のセットが「セットの管理」ページに表示されます。新しいセットは、フィルタリングされたセットバッジとオリジナルセットのフィルタリングされたセットに使用されるバッジで表示されます。

---

## ネットワークゾーンでのセットの保存

後で正規化ルールを使用してバルクの変更を行うために、ネットワークゾーンで書誌レコードのローカルセットを保存することができます。クエリは書誌レコードのローカライズされたフィールド、または目録（所蔵、アイテム、ポートフォリオなど）のいずれかから検索条件を使用するため、セットは機関ゾーンでのみ構築可能です。ネットワークにローカルセットを保存することにより、書誌レコードに必要な正規化ルールを適用することができます。

このアクションは、ネットワークにリンクされたレコードのみを含むセットをネットワークゾーンに作成するジョブを実行します。

---

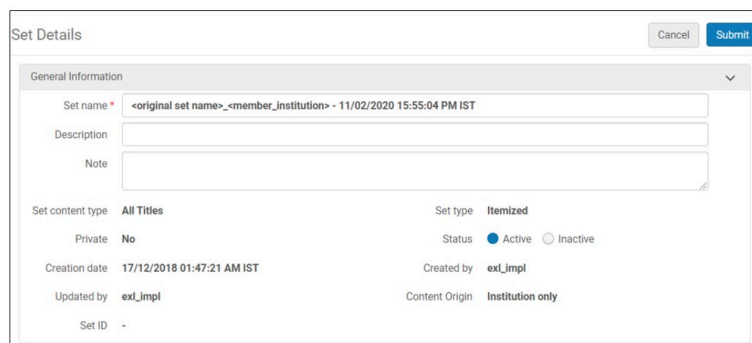
### Note

- この機能は、コンソーシアムの一部である機関でのみ利用可能です。
- この機能は、書誌とタイトルセットでのみ利用可能です。

---

ローカルセットをネットワークゾーンに保存するには：

1. 「セットの管理」ページで、冊子タイトル、すべてのタイトル、電子タイトルのいずれかのタイプの新しいセットを作成します。  
論理またはアイテムセットのいずれかを 作成する ことができます。
2. 行アクションリスト内のネットワークに保存するを選択します。
3. 表示される画面で、ネットワークゾーン（NZ）で作成されるセットの名前を入力します。フィールドに表示される命名規則に従います。デフォルト名は <original set name>\_<member\_institution> - date/time です。機関名をセット名の前に付けると、NZでセットを見つけるのに役立ちます。



4. 送信するを選択し、表示される確認メッセージで確認を選択します。  
Almaは、ジョブが作成されたことを伝えるメッセージを送信し、完了時にメールが送信されます。

ネットワーク内でセットを保存するジョブがIZのバックグラウンドで送信されて実行されます。ジョブはアクションを開始したメンバー機関に表示されます。「ネットワーク内でセットを保存する」のレポートはメンバー機関で生成されません。

---

### Note

プロセスが失敗した場合、たとえレコードの一部が処理されたとしても、NZでセットは作成されません。